

ら、第1期5カ年計画の2年目に導入した機器類（平成8年度導入分）のリースアップ分をリプレイスすることに重点をおいた。特に、検索システムの中心である情報カウンター前の端末機は6台の内、5台を最新の液晶型パソコンに切り替え、検索速度を高めた。また、前項で述べるように第2閲覧室北側に検索コーナーを作り3台の検索端末を設置したことから、分館を含む3つの学生用閲覧室の室内もしくは同室の至近距離からの資料検索が可能となった。

ホームページの改善とデータベースの作成

図書館のサービスを学内外へ周知させるためのホームページは、トップページ画面のレイアウトを変更した。これは増加してくるデータベースを利用者にわかり易く示すために行ったもので、一覧性を重視してカテゴリーとアイテムの関係を堅持したものになっている。

また、新たに書誌データベースの集合体である「世界を感動させた作家たち 世界の有名作家と作品」を作り、国と作家から検索できる12タイトルの個別データベースをホームページ上で公開している。さらに、オーストラリア文学の英語書誌データベースとして作った「Australian Literature Collection Author Index」は、オーストラリア大使から「日豪関係の進展に対する素晴らしい貢献」として感謝状を授与された。これらを併せて本学図書館が独自で作成したデータベースは58タイトルになった。

出版物

図書館の出版物については、館報『GAIDAI BIBLIOTHECA』を152号から155号まで4回のクォーター形式で刊行した。また、図書館利用マニュアルである『LIBRARY GUIDE』なども発行した。

出版物一覧

- | | | |
|--------------------------------|-------|--------------|
| (1) 『LIBRARY GUIDE』2001年度版 | | 平成13年 4月 1日刊 |
| (2) 『GAIDAI BIBLIOTHECA』(図書館報) | 第152号 | 平成13年 4月10日刊 |
| | 第153号 | 平成13年 7月 3日刊 |
| | 第154号 | 平成13年10月 5日刊 |
| | 第155号 | 平成14年 1月10日刊 |

(3) 展示目録『日伊文化資料展示会

「日本におけるイタリア2001年」を記念して』 平成13年10月23日刊

「特徴ある図書館活動」としての稀観書展示会とフォーラムの開催

本学図書館が「特徴ある図書館活動」の一環として行っている稀観書展示会は10月23日（火）より29日（月）にかけて、「日本イタリア年」を記念した「日伊文化資料展示会」を開催した。また、「フォーラム 学生と図書館」は「イタリアに魅せられた理由(わけ)」と題して、展示会の最終日である29日に展示会場内で行い、本学英米語学科卒業生で映画研究家の鶴明浩氏と、本学教授の清瀬卓氏にそれぞれの立場からの発表を願った。この二つの行事は京都新聞や京都テレビ、さらにはFM京都アルファ・ステーションなどで紹介されたことから、学生・教職員を含め約300人が会場を訪れた。

対外協力と館員の派遣協力

対外協力と館員の派遣協力は日本私立大学協会の図書館研修委員長として吉村善太郎副館長が、また大学コンソーシアム京都の図書館共同事業検討委員会副委員長として奥正敬事務長が本学図書館からそれぞれ派遣された。

資料掲載・展示許可

本学図書館所蔵の稀観資料を個人、出版者、団体等が出版物等に掲載するための写真撮影許可願や展示会への出展協力願は合計28件あり、図書館はこの全ての申し出について許可を与えた。

なお、許可をした出版物や展示会には本学図書館の所蔵であることが明記された。

国立情報学研究所関連事業

文部科学省の大学共同利用機関である国立情報学研究所（旧学術情報センター）の関連事業として、本学図書館より同研究所へ14,467件の書誌データ作成登録を行った。